

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2019-216174 (P2019-216174A)
 【公開日】令和 1 年 12 月 19 日 (2019.12.19)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-051
 【出願番号】特願 2018-112249 (P2018-112249)
 【国際特許分類】

H 0 5 K 7/14 (2006.01)

B 6 0 R 16/02 (2006.01)

H 0 2 G 3/16 (2006.01)

【F I】

H 0 5 K 7/14 D

B 6 0 R 16/02 6 1 0 J

H 0 2 G 3/16

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 5 月 27 日 (2021.5.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電子部品の実装面を有する基板と、
前記基板を内部に挿入するための開口部を有し、前記開口部から挿入された前記基板を
収容するケースと、
前記開口部を塞ぐように前記ケースに固定されるカバーと、を備え、
前記基板は、前記基板の端部側に形成され、前記実装面に直交する方向に弾性変形可能
な少なくとも 1 つの変形部を有し、
前記カバーが前記ケースに固定されて形成される収容空間内に前記基板が収容される際
に、前記変形部が弾性変形された状態で前記ケースもしくは前記カバーに当接すること
により、前記基板が前記収容空間内において固定状態で保持される電子装置。

【請求項 2】

前記変形部は、前記基板を前記実装面に沿った方向から前記ケース内に挿入する際の
前記基板の挿入先端部側に形成され、
前記ケースは、前記開口部と対向する前記ケースの内部に設けられたケース側基板保持
部を有し、
前記基板が前記ケースに挿入される際に、前記変形部が前記ケース側基板保持部に当接
して前記ケース側基板保持部により弾性変形される請求項 1 に記載の電子装置。

【請求項 3】

前記ケース側基板保持部は、
前記開口部と対向する前記ケースの内面から前記開口部側に延びる 2 つの第 1 保持部と
、
前記 2 つの第 1 保持部の間の位置において前記ケースの内面から前記開口部側に延びる少
なくとも 1 つの第 2 保持部と、を有し、
前記 2 つの第 1 保持部と前記第 2 保持部とは、前記ケースに挿入される前記基板の厚み
方向に前記基板の厚みよりも小さい間隔をあけて配置され、

前記基板が前記ケースに挿入される際に、前記２つの第１保持部により前記基板の挿入先端部側が支持され、前記第２保持部により前記変形部が押圧されて弾性変形される請求項２に記載の電子装置。

【請求項４】

前記変形部は、前記基板が前記收容空間内に收容された際に前記カバー側に位置する前記基板の端部側に形成され、

前記カバーは、前記ケースに固定された際に前記收容空間と対向する前記カバーの内側に設けられたカバー側基板保持部を有し、

前記カバーが前記ケースに固定される際に、前記ケースに挿入された前記基板の前記変形部が前記カバー側基板保持部に当接して前記カバー側基板保持部により弾性変形される請求項１～３のいずれかに記載の電子装置。

【請求項５】

前記カバー側基板保持部は、

前記ケースに固定された際に前記收容空間と対向する前記カバーの内側面から前記收容空間側に延びる２つの第１保持部と、

前記２つの第１保持部の間の位置において前記カバーの内側面から前記收容空間側に延びる少なくとも１つの第２保持部と、を有し、

前記２つの第１保持部と前記第２保持部とは、前記ケースに挿入された前記基板の厚み方向に前記基板の厚みよりも小さい間隔をあけて配置され、

前記カバーが前記ケースに固定される際に、前記２つの第１保持部によりカバー側に位置する前記基板の端部側が支持され、前記第２保持部により前記変形部が押圧されて弾性変形される請求項４に記載の電子装置。

【請求項６】

前記変形部は、前記基板の端部における前記実装面に沿った方向の両側に１つずつ形成されている請求項１～５のいずれかに記載の電子装置。

【請求項７】

前記変形部は、前記基板の端部側に平面視Ｌ字形状の切り込みを入れることにより形成されている請求項１～６のいずれかに記載の電子装置。

【請求項８】

前記変形部は、前記基板の端部側に平面視Ｔ字形状の切り込みを入れることにより形成されている請求項１～６のいずれかに記載の電子装置。